



サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）

豊田通商グループは、経営戦略に基づいて注力していく社会課題を明確にするため、6つのサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）を特定しております。

マテリアリティは、本部戦略に織り込まれ、各本部がサステナビリティ推進委員会で進捗を報告し、変化する国際社会の動向や、豊田通商グループの環境変化等を踏まえ、適宜見直しを実施しております。

また、当社の事業活動が持続的な開発テーマに与える影響を見る化するため、マテリアリティ毎に中期のKPIを定め、PDCAを回しております。

社員一人ひとりがこのマテリアリティを意識して事業活動に取り組むことで、会社も社員も持続的に成長し、社会課題の解決やSDGsへの貢献につなげております。

豊田通商グループのサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）





カーボンニュートラル実現への取り組み

豊田通商グループは「未来の子供たちにより良い地球を届ける」というミッションの下、リーディングサークキュラーエコノミー(CE)プロバイダーというありたい姿を掲げております。

カーボンニュートラルにつながる取り組みを力強く推進していくために、特に当社が強みを持つ5つの分野でワーキンググループ(WG)を組成し、「エネルギーをつくる」「エネルギーを集める・整える」「モノをつくる」「モノを運ぶ」「モノを使う」「廃棄物処理をする」「再利用する」という産業ライフサイクルの各段階において、CEを支える事業に携わっております。カーボンニュートラル実現に向けた事業強化のために2030年までに総額2兆円規模の投資を行ってまいります。

～5 WGの取り組み概要～

■再エネ・エネマネ WG (投資額1兆円)

当社が培ってきた再生可能エネルギー開発の知見を活かし、カーボンニュートラル達成に貢献してまいります

■バッテリー WG (投資額4,500億円)

バッテリーの資源開発からリビルト・リユース・リサイクルまで幅広く挑戦してまいります

■水素・代替燃料 WG (投資額2,000億円)

カーボンニュートラル達成のカギを握る領域の1つ、水素・代替燃料への取り組みを加速してまいります

■資源循環・3R WG (投資額2,500億円)

「CO₂を減らす、なくす、CO₂から創る」をキーワードに資源循環の取り組みを深化させてまいります

■Economy of Life WG (投資額1,000億円)

「衣食住」に関わる領域で、CO₂の排出削減及び吸収・活用に取り組んでまいります